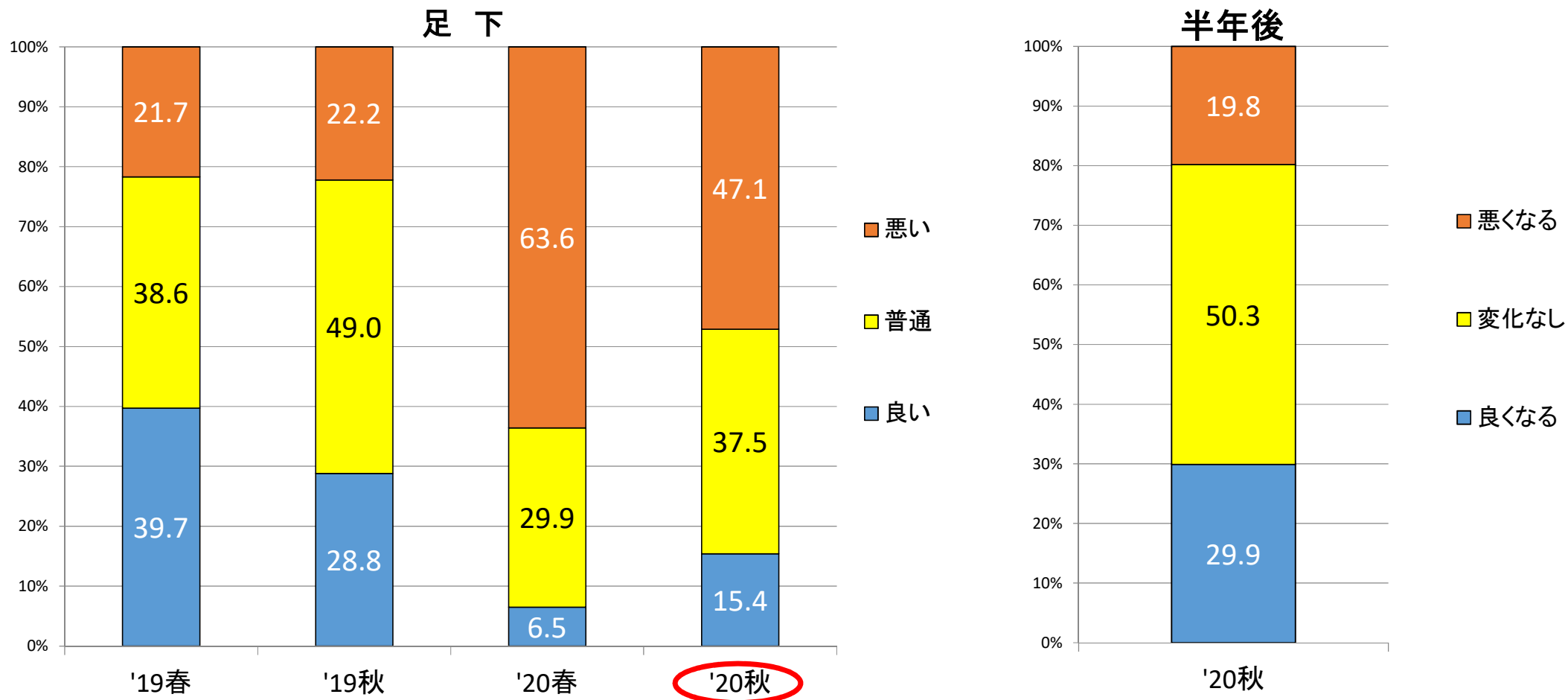


社会経済の再活性化について (最近の状況)

※11月末までの商工観光労働部による調査等に基づく分析

令和2年12月21日
大分県商工観光労働部

依然としてマイナス圏にあるが、回復の兆しがみられる。
半年後の見通しについては、引き続き不安感が残っている。

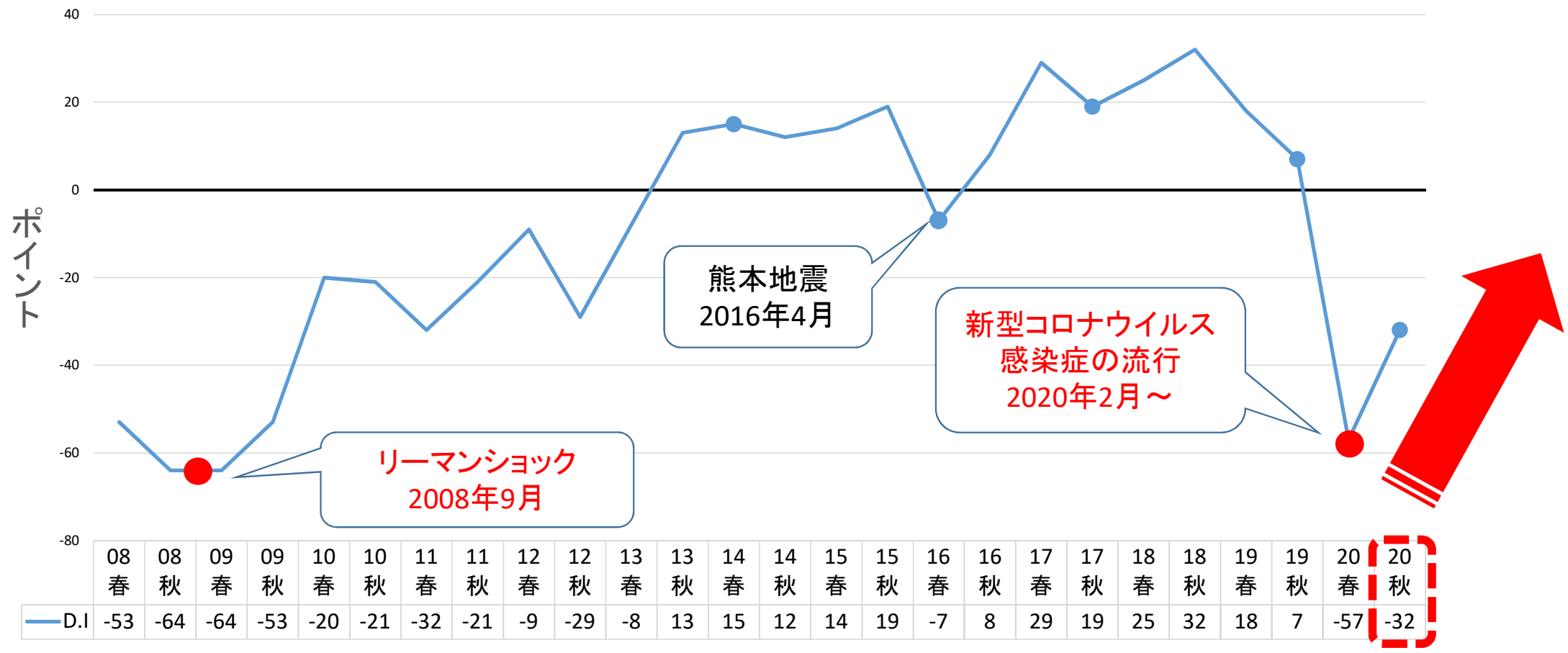


出典：大分県商工観光労働部「2020秋の500社企業訪問実施結果について」

調査を開始した2008年以降の県内企業の業況判断指数（D. I）の推移

※D. Iは、景況が「良い」と答えた企業の割合から、「悪い」の割合を引いた値。

D.Iの推移



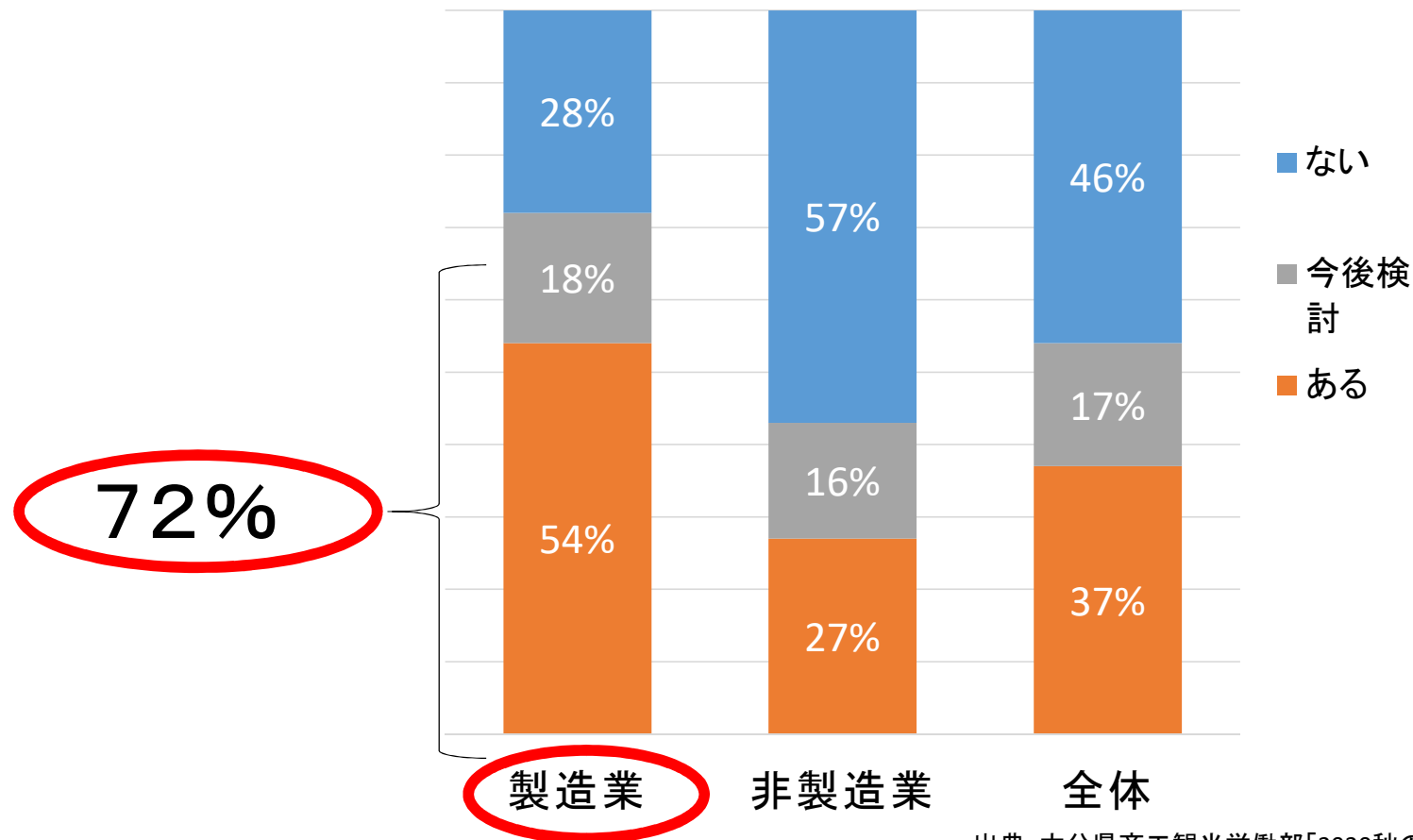
「飲食・宿泊」の約9割が「悪い影響」となる一方、「通信・情報」「卸・小売」の一部では「良い影響」との回答も見られる。

	悪い影響が大いにあり	悪い影響が少しあり	今後悪い影響の可能性	良い影響が大いにあり	良い影響が少しあり	今後良い影響の可能性	影響なし	(%)
食品加工	50.0	25.0	0.0	3.3	8.3	1.7	11.7	
電気機械	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
輸送機械	56.0	32.0	0.0	0.0	4.0	8.0	0.0	
通信・情報	17.8	26.6	6.7	6.7	17.8	8.9	15.5	
飲食・宿泊	84.7	5.9	3.5	2.3	2.4	0.0	1.2	
卸・小売	47.8	19.6	4.4	13.0	6.5	0.0	8.7	
運輸	50.0	35.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	
土木・建設	7.1	25.0	14.4	0.0	7.1	0.0	46.4	

出典：大分県商工観光労働部「2020秋の500社企業訪問実施結果について」

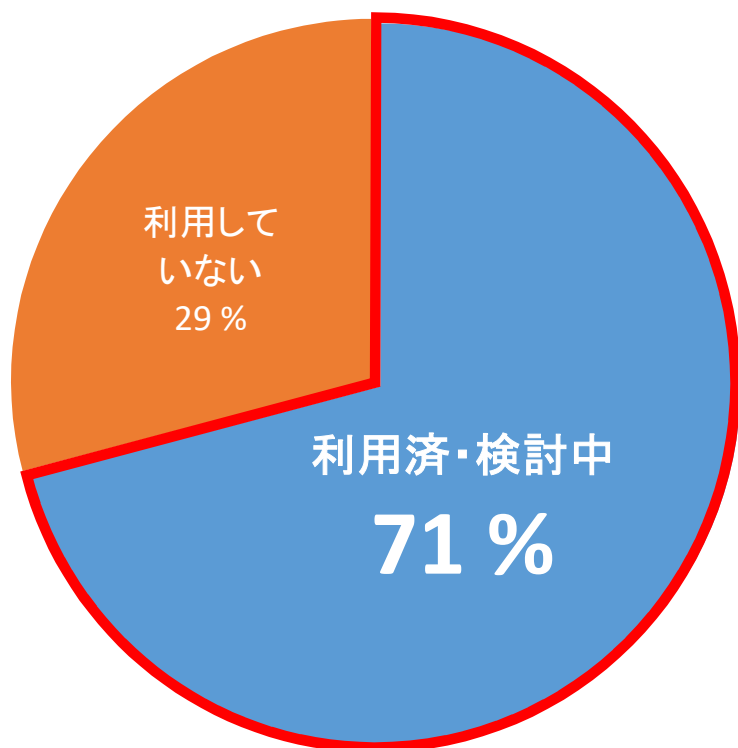
苦しいながらも、製造業においては、**72%の企業**が引き続き投資マインドを持っている。（春の調査時は58%）

設備投資計画の有無

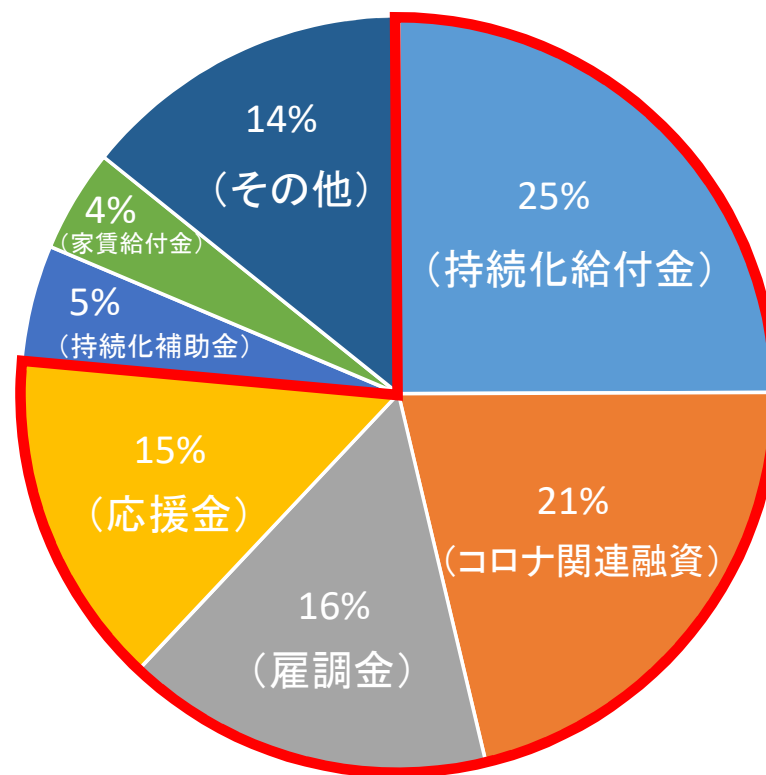


7割を超える企業が、様々な支援施策を活用している。

活用した支援施策

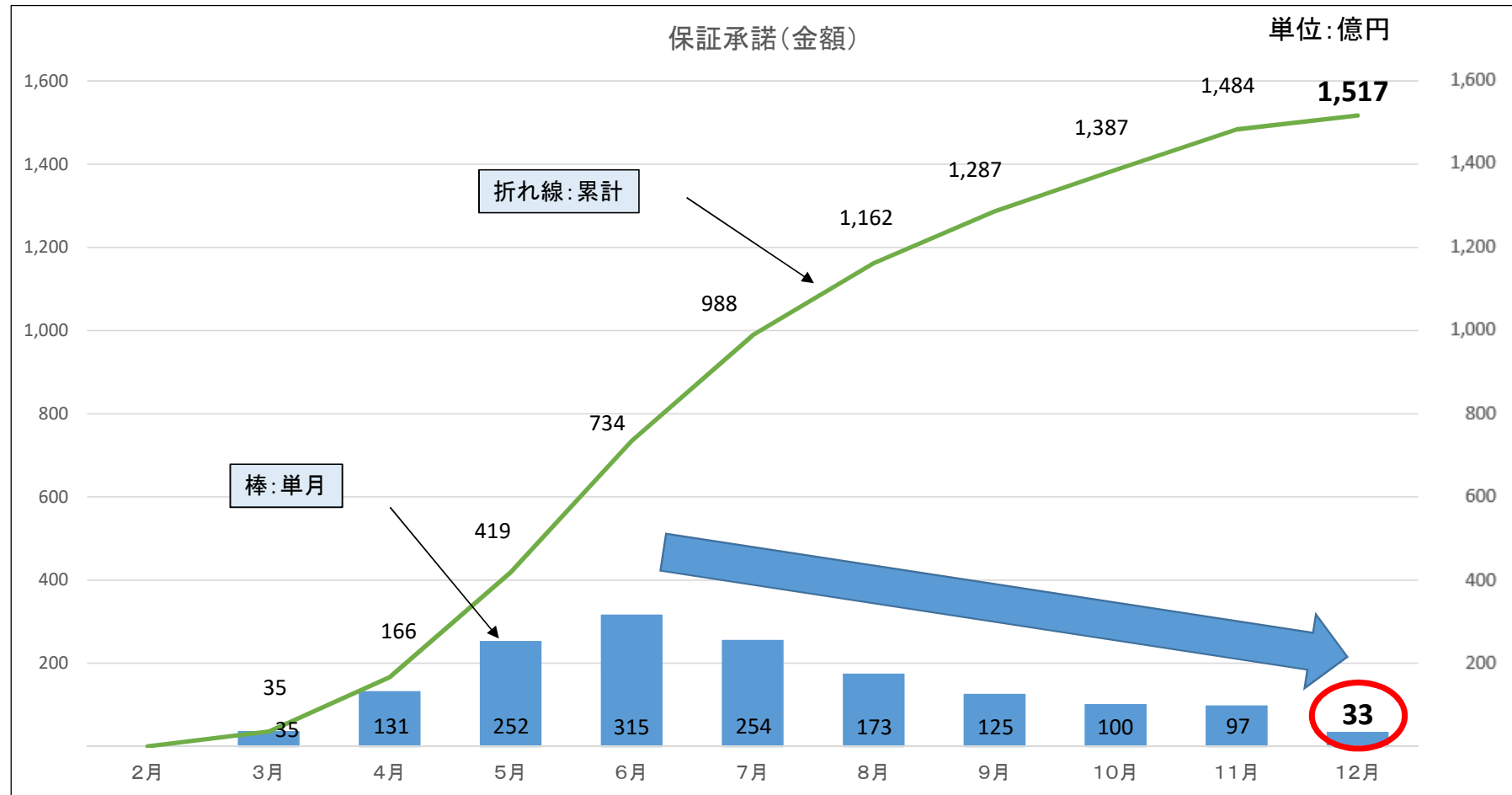


活用した支援施策の内訳



貸付金による資金供給額は1500億円を超え、多くの県内事業者を活用されている。

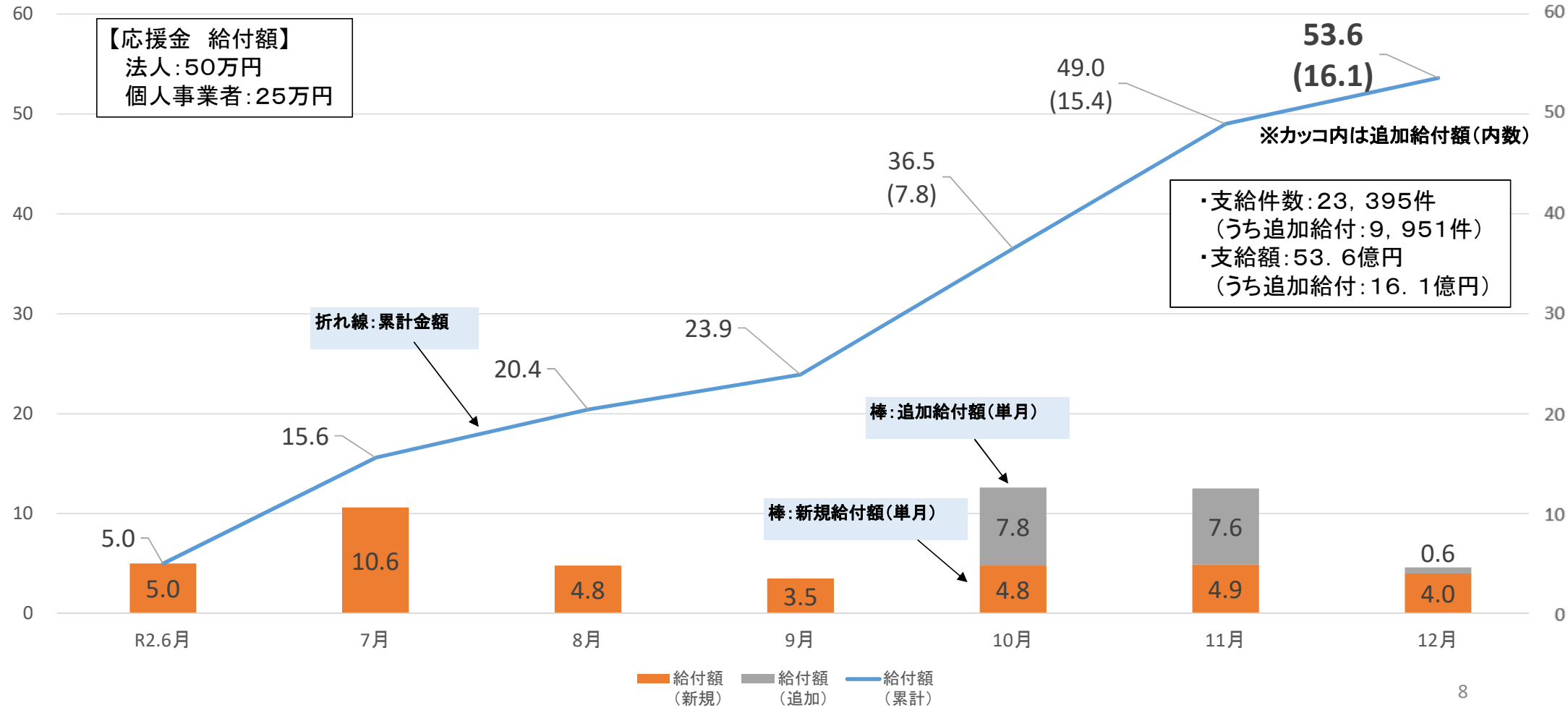
県制度資金(がんばろう資金、コロナ対策特別資金)の状況 (令和2年12月11日現在)



応援金の支給額は53億円を超え、多くの県内事業者を活用されている。

応援金 給付状況

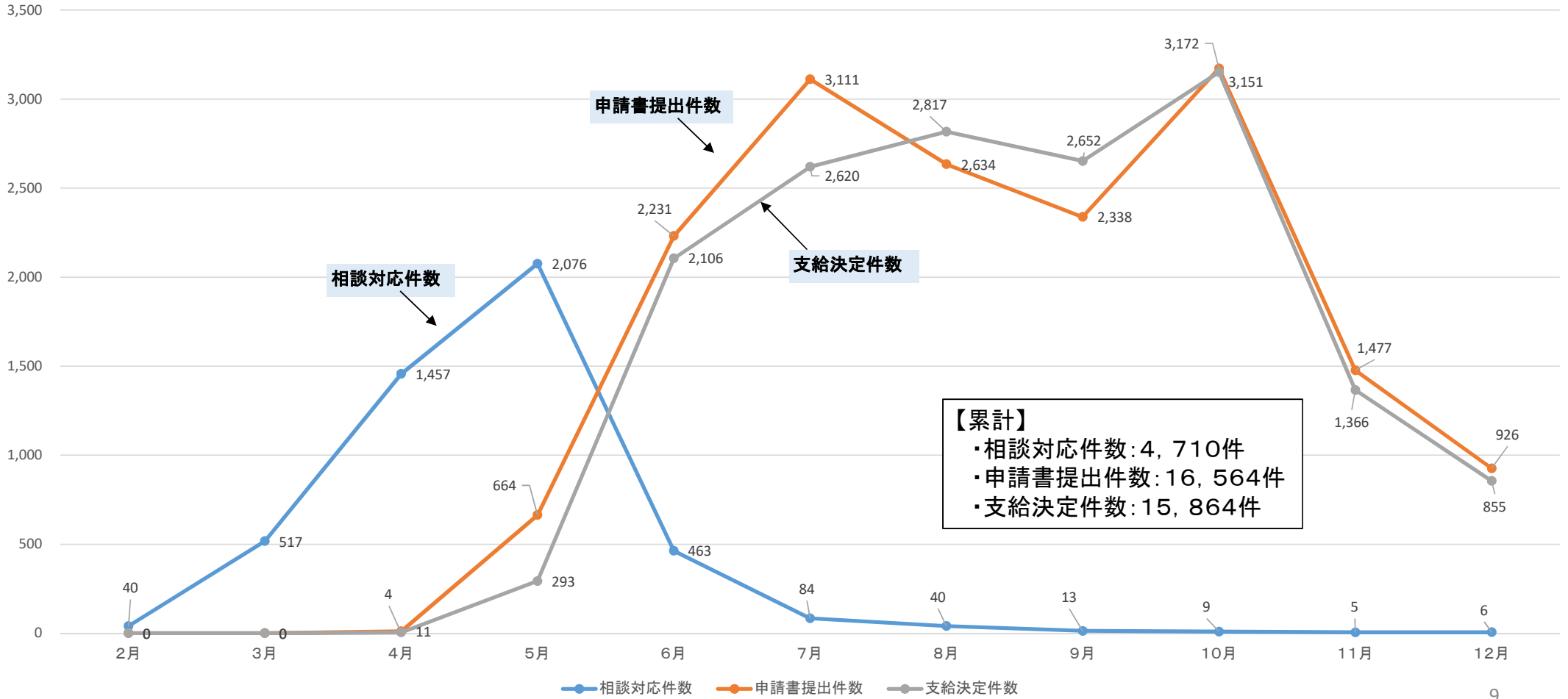
(単位:億円)



雇用調整助成金は、相談件数が落ち着き、順調に支給されている。

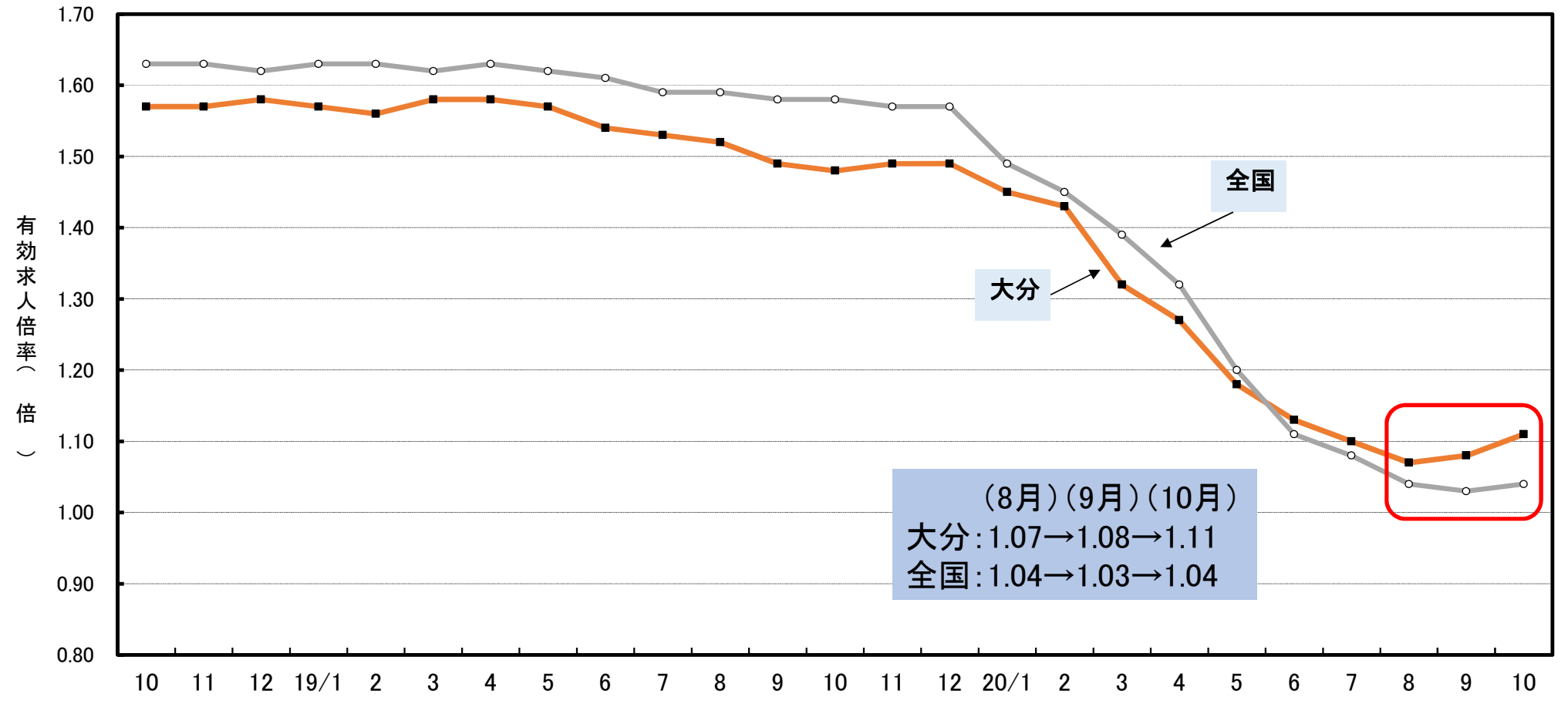
雇用調整助成金の対応状況

令和2年12月11日現在



有効求人倍率は、2ヶ月連続で上昇している。(全国は1年半ぶりの上昇)

有効求人倍率の推移

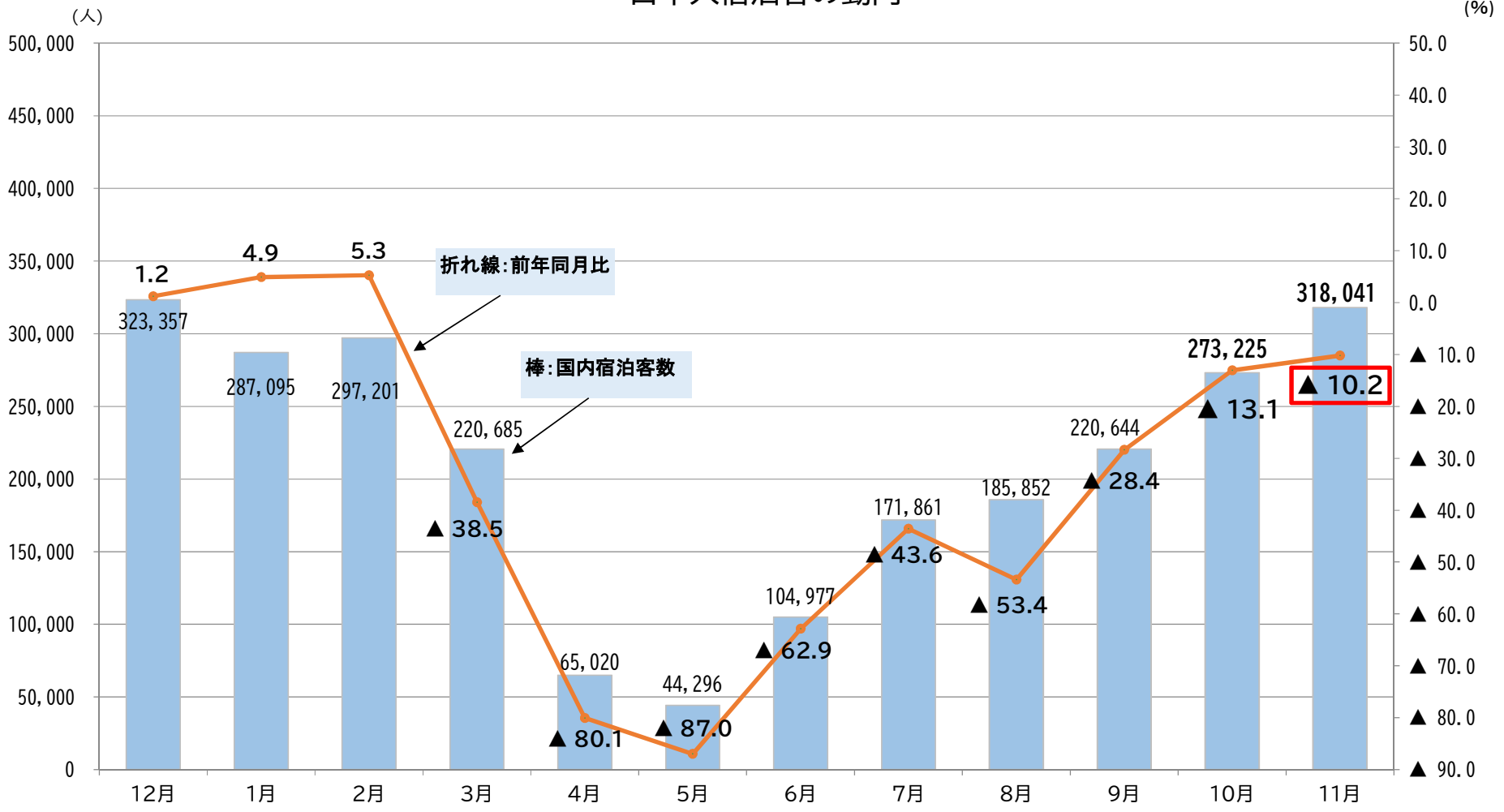


(8月)(9月)(10月)
大分: 1.07→1.08→1.11
全国: 1.04→1.03→1.04

出典: 一般職業紹介状況(厚生労働省、大分労働局)

国内宿泊者数是对前年同月比で、約90%にまで回復してきた。

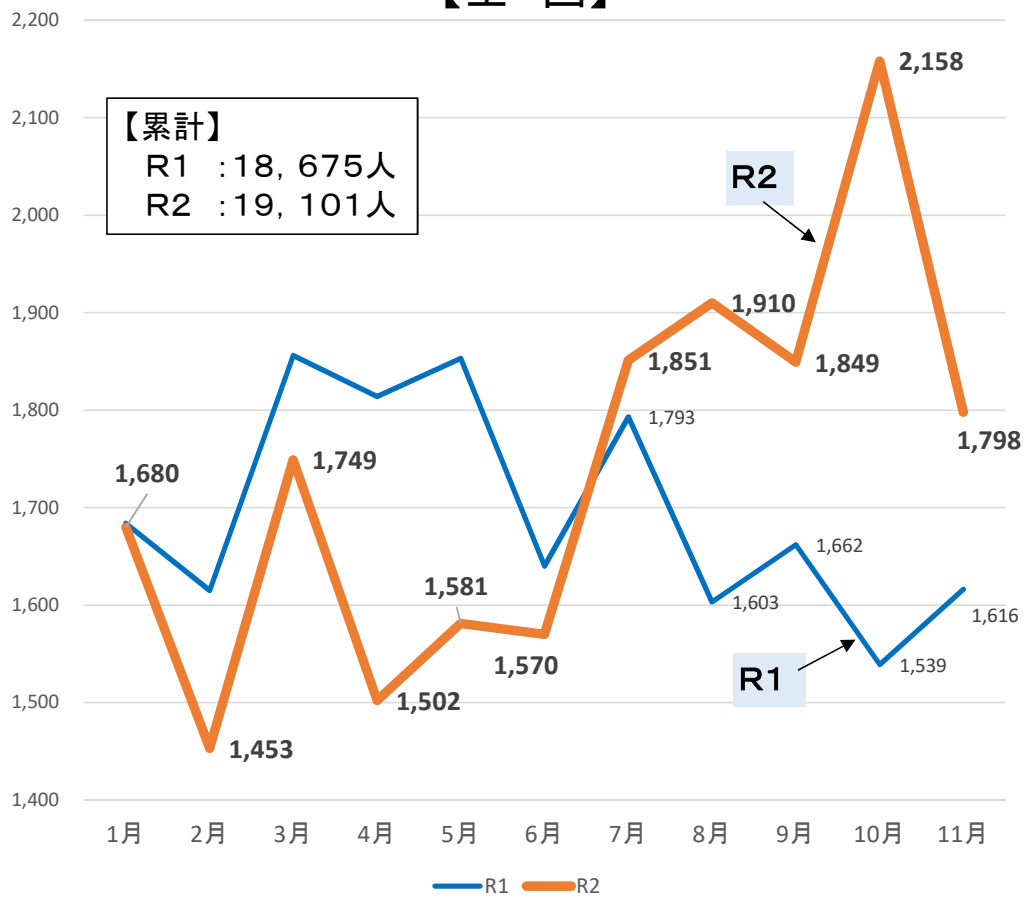
日本人宿泊客の動向



大分県の月別自殺者数は、昨年と同水準で推移。今後も注視が必要。

月別自殺者数比較(11月末時点)

【全 国】



【大分県】

